

地域公共交通確保維持改善事業の予算額推移（当初予算及び補正予算）

（単位：億円）

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
当初予算	305	306	306	306	290	229	214	209	220	204	206
補正予算	0	13	14	68	49	11	25	34	49	138 305の内数 ※1	—

※1 上段は第2次補正予算、下段は第3次補正予算の額をそれぞれ示している

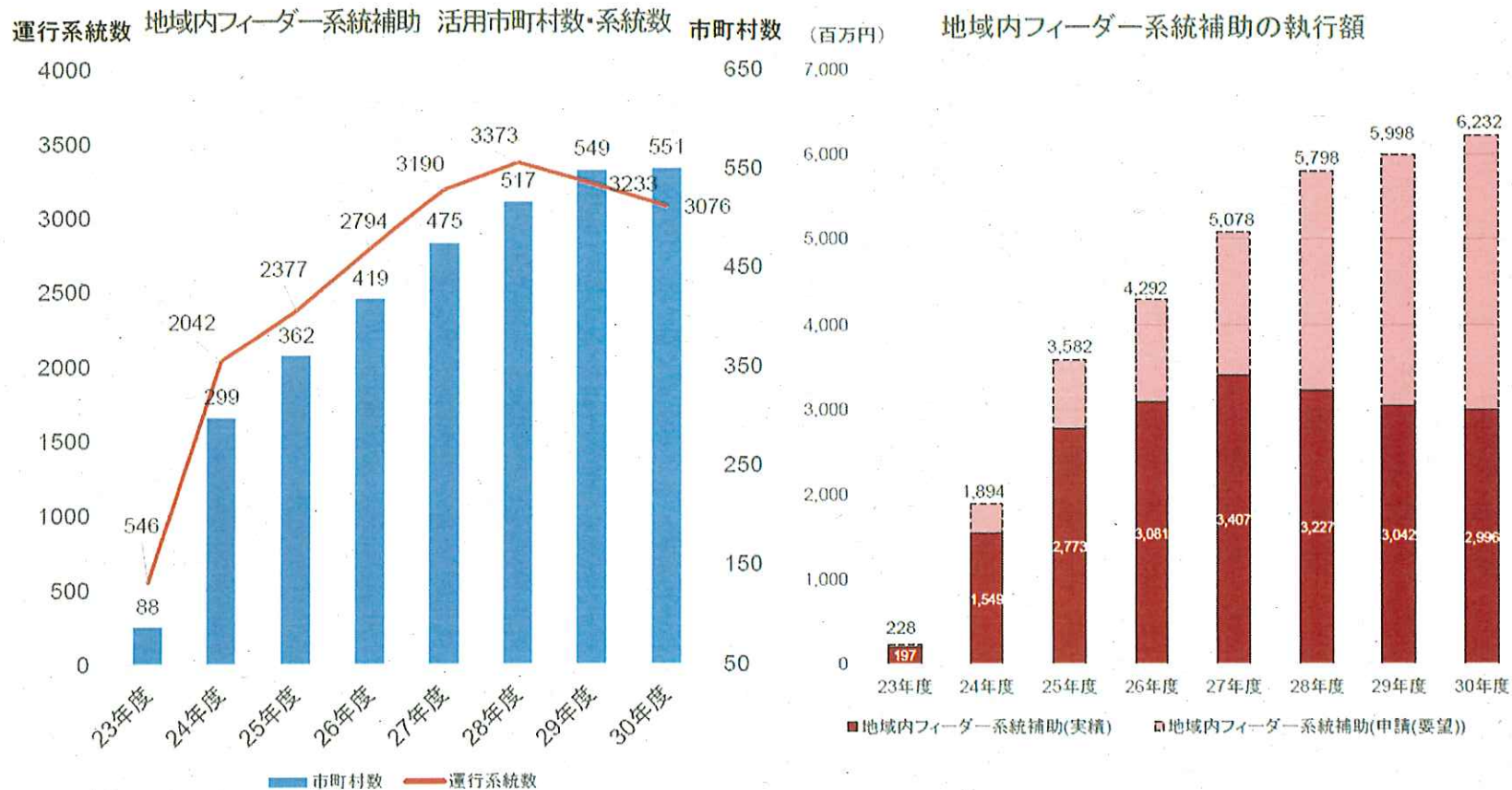
なお、③ 地域公共交通における感染症対策への予算額については、

令和2年度 138億円（2次補正）、305億円の内数（3次補正）

令和3年度 0（※「15ヵ月予算」の考え方の下、令和2年度第3次補正予算と一体的に編成しているため。）

地域内フィーダー系統補助の推移

■ 地域公共交通を巡る環境が厳しさを増す中、地域の経済・社会活動の基盤である地域内交通（コミュニティバス、乗合タクシー等）の確保維持に対するニーズは拡大傾向にある。地域内フィーダー系統補助を活用する市町村数・申請（要望）額も増加傾向にあるが、限られた予算の範囲内で執行している状況にある。

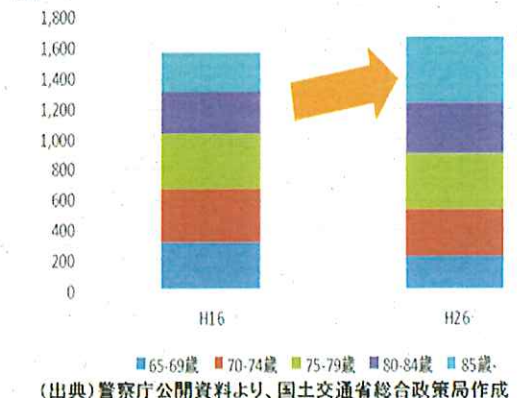


出典：国土交通省総合政策局地域交通課 地域交通をめぐる現状と課題 令和元年9月9日 より抜粋

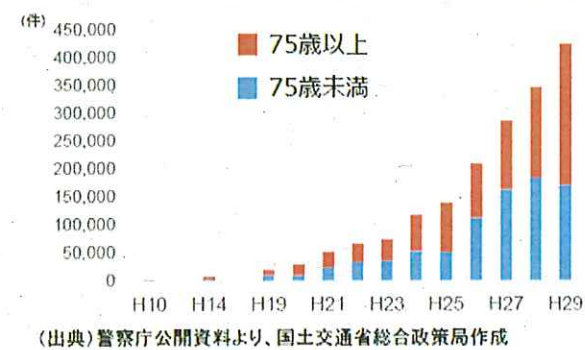
地域交通を取り巻く環境～高齢者の不安

- 高齢者の免許非保有者、免許返納の数は、近年大幅に増加。
- 高齢者を中心に、公共交通がなくなると生活できなくなるのではないか、という声大きい。

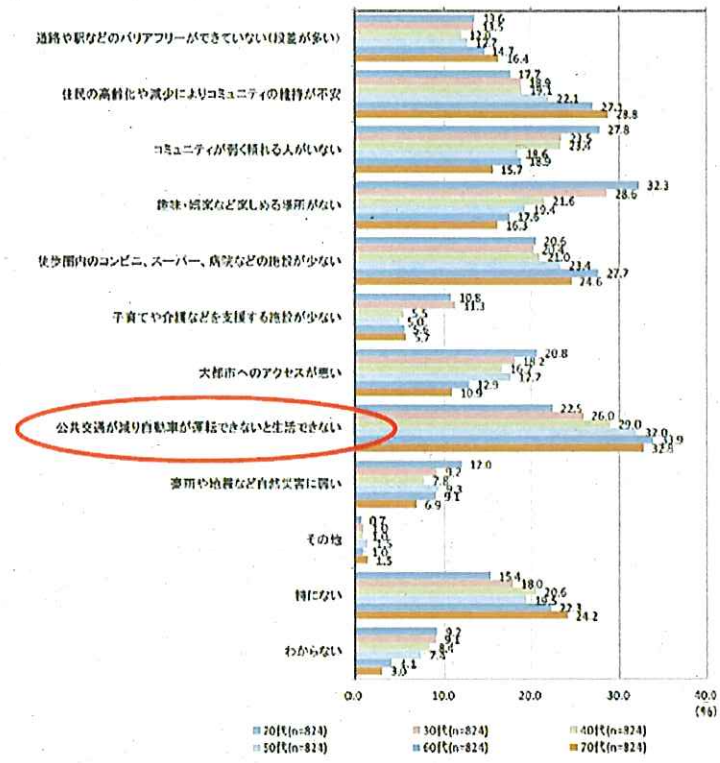
高齢者の免許非保有者数は10年で100万人増 (万)



免許返納は年々増加 (運転経歴証明書交付件数の年別推移)



現居住地に対する将来の不安は、公共交通の減



出典：国土交通省総合政策局地域交通課 地域交通をめぐる現状と課題 令和元年9月9日 より武田良介事務所加筆